

令和3年度予算編成方針

本学は、令和元年度及び第1期中期目標評価（4年終了時）に係る業務の実績に関する評価結果に対し、以下の点を令和3年度の予算編成方針に反映することとした。

- ・令和2年度に策定する将来計画（現在策定中）の実現に向けた準備を進める。
- ・情報学部設置後の教員増員や北近畿地域連携機構の充実、事務局体制の充実（複数人体制）など、教職員の増員に関して設置者と共に検討を進める。
- ・財政状況等を意識し、業務効率化に向けた課題の洗い出しを行い、具体的な改善取組の検討と実施を行う。

令和3年度は、第1期中期目標期間（6年間）の最終年度であることから、第1期中期計画に掲げた各項目を着実に実施していくとともに、残された課題の整理を通して次期中期目標を達成するための中期計画の策定につなげていく必要がある。

また、今般のコロナ禍により、オンライン授業に対応するための情報通信環境整備を含む教育研究環境の整備費用や、学生・教職員の安全のための費用増大が見込まれる。令和2年度予算においては、新型コロナウイルス感染症の影響やその他の事情で授業料の納付が困難となった学生が経済的な理由で修学を諦めることのないよう「福知山公立大学緊急授業料減免制度」を設置するなど様々な支援策を行った。コロナ禍での学生支援等については引き続き考慮するとともに、このような状況下においても教育研究水準を維持向上させることは必要であり、教育研究環境の整備及び教育研究活動の永続性を強固なものにしていく必要がある。

以上のことを踏まえ、令和3年度予算は、引き続き中期目標の達成・実現に向けて効率を図りつつ、本学の強み・特色を活かすよう、以下を重点項目として予算編成を行う。

I. 予算編成上の重点項目

1 情報学部に関する経費

情報学部は数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムへの連携校として参加している。本学においても地域の様々なデータを分析し還元していくため、データサイエンスセンター（正式名称は数理・データサイエンス推進センター）の立ち上げ準備を進める。このデータサイエンスセンター及び情報学部におけるPBL等を扱う事務補佐員を増員する。

また、IT実習の学修環境の確保のために機材の整備やソフトウェア等を導入する。

2 修学環境向上に関する経費

学生の学修意欲及び教育効果を高めるための学修環境向上を図り、ウイズコロナ時代に対応した通信環境（遠隔授業に対応するものを含む）を整えるための経費を計上する。

3 将来計画の推進に関する経費

第2期中期目標期間に向け、本学の将来計画（大学院設置、キャンパス整備、地域連携の充実、組織を強化するための業務効率化等）に関し必要となる経費を計上するとともに、将来構想を円滑に遂行するために必要な職員の増員を行う。

4 地域防災研究センター、国際交流センターの設置に関する経費

地域防災研究センター及び国際交流センターを設置するとともに、設置に必要な職員増員等の経費を計上する。